

石狩市連携会議のPFシートの取り組み

I はじめに

石狩市では、2007(H19)年以降、保護者負担調査に取り組んで来ました。今回は、調査方法を全道協議会が提唱した「PFシート」で実施することとしたので、途中経過を報告します。

○ 第83回連携会議の提案より

2017年度「保護者負担調査」について（事務局）

1. 保護者負担調査の意義

- (1) 各校の現状を知ることで自校の保護者負担軽減などのとりくみに活かすことができる。
- (2) 学校財政確立のための活用（ひいては保護者負担軽減につながる）。

2. 調査の観点

- (1) 保護者負担の状況を各校比較検討することにより、保護者負担軽減策のヒントを探る。
- (2) 学校徴収金と公費財政の関係を比較検討する資料として活用する。
- (3) 予算要望書の参考資料として活用する。 ※第2回連携会議（09/6/16）で論点整理を行っています。ウェブサイトを参照してください。

3. 調査項目等について 今年度はPFシートを使って調査します。

◆PFシートについて（以下全道協議会ウェブサイトより転載）

「PFシート」は、職務検討委員会が、学校の「学校財政財務活動・保護者負担」の実態をとらえ返す方法の一例として作成し、2016年9月8日～9日に開催された北海道公立小中学校事務研究大会・第5分科会において提起したものです。

(1) PFシートとは？ 学校で取り扱っている「私費」を入力することから、学校の「保護者負担」の実態把握と、日常「学校財政財務活動」のふり返りをすすめるために作成しました。

(2) PFシートを入力することによって・・・

- ①学校の保護者負担を詳細に把握することができます。入力する作業をとおして負担に感じる面もあるかもしれませんが、その過程から得られる「気づき」が、学校事務職員による次の活動をつくりあげます。
- ②学校の保護者負担の実態を、A3サイズの用紙1枚に整理でき、全体像が見えてきます。
- ③学校の「PFシート」を交流することによって、活用の幅が自由に広がります。

(3) PFシート・入力にあたって <省略>

4. 具体的作業は次のとおりです。

- ・PFシートの記載の仕方について、夏季研でプレゼンを行います。
- ・各校のシート提出期日は夏季研終了後に連絡します。（予定は8月いっぱいです）

Ⅱ PFシートの実際・・・資料1-1、資料1-2をご覧ください。

- 全道協議会のPFシートとの違い（全道協議会版は、全道協議会ウェブサイトを参照ください）
 - ・ グラフを省略して、公費と私費の総額比較だけに絞りました。
 - ・ 二つのグラフに反映させる項目を組み替えてみました。
 - ・ 項目そのものも若干手直ししました。

新しく加えた項目

- ①全道協議会11番の「見学・修学旅行」に12番「見学・修学旅行（クラス・班別・その他）」を加えました。（班別行動等のいわゆる持参経費を調べるため）
- ②その他、項目の説明書きの部分で、よりわかりやすく説明を加えた部分もあります。
- ③別シートに「自校の保護者負担の現状に係わる課題・改善点」と「PFシートを入力していて困ったこと・改善点」を記述してもらうようにしました。

Ⅲ 速報値の分析・・・資料2をご覧ください。

- 小規模ほど公費負担割合が大きい。

このことは、これまでの調査で予想されていたことですが、はっきりと数値化していませんでした。しかし、今回数値化し、グラフ化することで視覚的にも明らかになり、大きなインパクトがありました。

なぜそうなるのかを分析し、今後の予算要望や保護者負担の軽減公費化に生かすことが必要です。

Ⅳ PFシート取り組んでみて・・・資料3をご覧ください。

- 各校の保護者負担の現状に係る課題や改善点、PFシートの入力についての意見を記入してもらいました。

資料1-1 石狩市版 PFシート

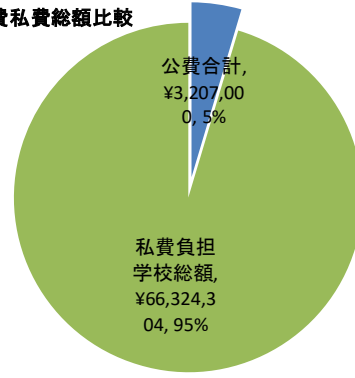
2017年度 保護者負担調査 (PFシート)

黄色く塗りつぶされたセルのみ入力して下さい

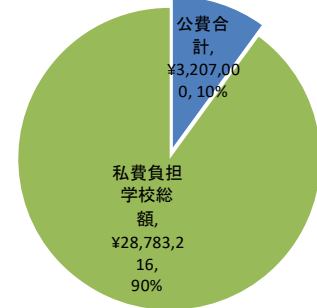
需用費ではなく**配分消耗品費**です。学校図書館消耗品費も除きます。
本種学級用消耗品も除きます

配分消耗品費 + 教材備品費配分額 (楽器特別配分含と理振は除く)	¥2,912,000
学校奨励プログラム補助金	¥295,000
公費合計	¥3,207,000
私費負担学校総額	¥66,324,304
21~27を除く私費負担学校総額	¥28,783,216

公費私費総額比較



21~27を除く公費私費総額比較



学校名【花川中学校】

大分類	番号	項目	説明	1年	2年	3年	備考 (入力したデータの補足)
授業に直接関係あるもの	1	認可補助教材 (教育委員会認可)	教育委員会へ届出し認可されている補助教材 (副読本、資料、ドリル、問題集、ワークブック)	9,370	4,455	4,745	保健体育副読本、教科書準備ワーク他
	2	補助教材 (認可以外)	上記以外の補助教材 (副読本・ドリル・ワーク・問題集など)	0	0	0	
	3	テスト(市販テスト)用紙代	CRT・NRTなど学力を測定するためのテスト (テスト印刷用の用紙代は、9「その他」へ)	320	640	960	学力テスト (文化協会)
	4	夏・冬休み帳代	市販であり、単価が明確なもの	0	0	0	
	5	実験・実習材料代 !別表を先に記入	実験用キット・セット、道具代などの消耗品。実習材料費など (内訳が必要な場合は下の別表に教科別で記載)	3,400	5,200	3,200	理科実習費、美術、技術、家庭科
	6	スポーツ着帽子など	入学時、必ず購入が求められる基本的なもの (ジャージ・運動靴など)	20,304	0	0	指定ジャージ上下、Tシャツ・短パン、運動靴
	7	教員全般 (鍵盤ハーモニカなど)	必ず購入が用意が求められる基本的なもの (アルトリコーダー、習字・裁縫・絵の具セット、彫刻刀など)	4,950	0	0	アルトリコーダー・デザインセット
	8	消耗品	画用紙・半紙・模造紙など紙類や、フラットファイルなど	0	0	0	
	9	その他	その他、授業に直接関係あるもの	0	0	0	
授業の周辺・学校行事など	10	観劇・鑑賞	演劇・映画・音楽等の鑑賞代 (CD・DVD等の購入は、17「視聴覚・図書費」へ)	0	0	0	
	11	見学・修学旅行	修学旅行・宿泊学習等の集金額全額 (記念写真代がセットの場合も含める)・持参経費は12番で回答	2,000	17,600	67,000	学校集金額 (1年校外学習¥2000、2年宿泊研修¥17600、3年見学旅行¥67000)
	12	見学・修学旅行 (クラス・班別、その他)	11番以外で、持参することになっている経費 (交通費、食事代、お小遣いなど)・一人当たりおおよその平均額	1,000	2,200	17,000	修学旅行はお小遣い+班別行動費
	13	交通費	修学旅行・宿泊学習等以外でのバス代 (遠足・スキー学習など)で、学年全体が対象となるもの (リフト代等含む)				
	14	交通費 (その他)	上記以外で必要となった交通費・一人当たりおおよその平均額	0	50	250	2年職場体験、3年上級学校訪問
	15	保健衛生費	石鹸・トイレトペーパー・消毒用アルコールなど、保健衛生を目的とするもの	0	0	0	
	16	視聴覚・図書費	視聴覚教育充実費等、図書購入等	0	0	0	
	17	クラブ・部活動費	PTA会費・後援会組織等から集金している金額を記載	2,700	2,700	2,700	世帯2,700 + 加入者本人別途2,000
	18	学級費	「学級費」の名目での集金のもの				
	19	児童・生徒会費	児童・生徒会運営のために集金している金額 (PTA会費等と一緒に集金の場合は、その金額を記載)	2,000	2,000	2,000	生徒会費
20	その他	知能検査・スポーツテスト関係・各種検査 (AAI・Q-Uなど)の用紙代・手数料。連絡帳など	0	0	0		
その他	21	生徒手帳代	生徒手帳・身分証明書 (IDカード) など (生徒会費等と一緒に集金の場合は、20「児童・生徒会費」へ)	180	180	180	生徒手帳
	22	学級・学年写真	入学記念写真・行事写真など (卒業記念写真は、22「卒業記念品等」へ)	0	0	0	
	23	卒業記念品等	卒業記念写真・卒業アルバム・記念事業・同窓会費など	0	0	8,800	アルバム7800、同窓会費1000
	24	給食費	給食費の年額 (学年で違いがある場合は、基本額)	59,200	59,200	59,200	185食 × 320円
	25	スポーツ振興センター掛金	市町村での負担がある場合は、「備考」にその金額を記載	460	460	460	460円市負担
	26	制服	入学時に揃える必要のある制服 (夏服を含む概算額)	42,552	0	0	男子34344円、女子42552円
	27	その他	進路は進路指導費など全体から集金の場合のみ記載。	0	0	1,200	3年進路指導費
私費負担額個人合計				148,436	94,685	167,695	
21~27を除く私費負担額個人合計				46,044	34,845	97,855	
私費負担学校総額 ¥66,324,304				24,343,504	15,149,600	26,831,200	
21~27を除く私費負担総額 ¥28,783,216				7,551,216	5,575,200	15,656,800	
生徒人数				164	160	160	

↑各学年の生徒数 (支援学級児童生徒含む) を入力してください

大分類	1年	2年	3年	
授業に直接関係のあるもの合計	38,344	10,295	8,905	¥9,360,416
授業の周辺・学校行事など合計	7,880	24,730	89,130	¥19,509,920
その他合計	102,392	59,840	69,840	¥37,541,088

資料1-2 石狩市版 PFシート

別表 ★上記5番の実験・実習材料代の教科別内訳を記載してください。

実験・実習材料代内訳	1年	2年	3年	備考（入力したデータの補足）
国語				
書写				
社会				
数学				
理科	300	300	300	実験消耗品費
音楽				
美術	800	1,000	800	実習材料
保健体育				
技術	1,500	3,100	1,300	1年木工キット1,300円+消耗品費200円 2年電気実験セット2,800円+消耗品費300円 3年配線器具キット1,130円+消耗品170円
家庭	800	800	800	調理・被服実習材料+消耗品費
外国語				
その他				
合計	3,400	5,200	3,200	

※ 実際は「資料1-1」と「資料1-2」を合わせてA3版 1枚です。
今回は見やすさを考え、分割して紹介しています。

資料2 学校規模と私費負担割合の相関関係に注目してみました

学校名	児童生徒総数	全ての調査項目について 調査集計した額		左の合計から項目21から27 までを除いた額	
		公費総額 (%)	私費総額 (%)	公費総額 (%)	私費総額 (%)
聚富小 (併)	13	62	38	85	15
厚田小	28	43	57	75	25
浜益小	30	46	54	88	12
八幡小	50	38	62	74	26
石狩小	68	26	74	62	38
生振小	70	29	71	63	37
双葉小	291	13	87	34	66
花川小	292	13	87	36	64
紅南小	386	6	94	22	78
緑苑台小	462	10	90	30	70
花川南小	581	7	93	20	80
南線小	927	7	93	21	79

学校名	児童生徒総数	全ての調査項目について 調査集計した額		左の合計から項目21から27 までを除いた額	
		公費総額 (%)	私費総額 (%)	公費総額 (%)	私費総額 (%)
聚富中 (併)	12	53	47	86	14
浜益中	19	35	65	56	44
厚田中	29	32	68	56	44
石狩中	81	17	83	34	66
花川北中	307	7	93	15	85
花川南中	323	6	94	13	87
花川中	461	5	95	10	90
樽川中	494	5	95	11	89

学校規模と公私費負担割合に相関関係があると思われます（小規模ほど私費割合少ない）が、どういう理由によるかについて考えてみる必要があります。

※公私費負担割合を競う調査ではないので、学校名を表示しています。

資料3 PFシートの作成に合わせて、下記の2点について回答を求めました。

学校名	<p>自校の保護者負担の現状に係わる課題・改善点について下記に記入願います。 実現可能性にかかわらず、感じたことを記入して下さい。</p>	<p>PFシートを入力していて困ったこと・改善点があれば、下記に記入して下さい。</p>
A小	<p>全校統一の漢字練習用ドリルや夏・冬休み帳の保護者負担をなくしたい。</p>	<p>給食費の基本額とは何ですか？185食×単価で計算したもので良いのでしょうか？</p>
	<p>実験・実習材料代は学年による差が大きい。特に、図工教材によるところが大きい。市販のセット教材でなければならないのか。</p>	<p>別表が、その他項目と4～6年合計額の計算式が入っていなかったため、修正しました。</p>
	<p>給食費の負担は大きい。公費負担になることを望む。</p>	
B小	<p>今年度より番号8の消耗品については、保護者から徴収せずに公費負担とした。</p>	
	<p>社会見学バス代の保護者負担軽減のために学校配分予算で「バス借り上げ料」等の予算化を要望したい。</p>	
	<p>スキー学習での保護者負担軽減のため、スキー学習助成金の要綱改正を要望したい。（バス2回分の支給またはリフト代の補助等）</p>	
C小	<p>児童数の減少により、修学旅行の一人当たりの集金額が高額になってきました。計画の際、就学援助費の限度額を考慮する必要があると感じます。</p>	<p>印刷する時に上の部分が切れてしまっていたので、困りました。</p>
	<p>スキー学習のバスは福祉バスを利用し保護者負担はありませんが、リフト代等については保護者負担になっています。</p>	
D中	<p>昨年度から宿泊学習を函館で実施。集金額は1,7万円台となり、一昨年を一万円上回るようになった。改善を求めているが、自主研修のできる地域が限られるとの理由で、来年も函館で実施予定となっている。</p>	
	<p>職業体験学習で給食センターの厨房に入る場合の検便費用648円を奨励プログラム費で支出。（2名）</p>	
E中	<p>ワーク購入や旅行的行事に対して、事務職員が参入していない現実がありました。（関わりが薄くなってしまい、金額の高騰に歯止めをかけられなかった）</p>	<p>学校で使用している『光熱水費』を記入することも必要では！？ ランニングコストとしての公費を入れることでフェアな資料となると感じました。</p>
	<p>他校に比べれば、公費負担は進んでいると感じる。</p>	
	<p>教員にとって、公費負担は良い事と捉えられていない現実もよく分かった。 ※都合の良いお金の使い方ができないという視点</p>	
	<p>後、何ができる？となった時、大物は文化協会テストか！？</p>	
F中	<p>制服代、卒業アルバム代、修学旅行自主研修代等、校内で調べることに苦労した。校内での情報の共有に課題があるかも。</p>	<p>配分予算はどこまで入れるのかなど、注釈をつけてもらい理解できた。金額や人数等のおさえを事前に確認したが、その部分をよく確認することが大事だと思った。</p>
	<p>毎日多忙な先生方と保護者負担軽減の話をどのようにしていくか模索中です。</p>	